

働く人に満足を。

多様性を活かす 組織への変革

多様性を「尊重」した組織から、さらに多様性を「活かす」組織づくりによって、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指します。性別、年齢、地域や国籍、宗教などで差別やハラスメントが起これず、人権が守られ、互いに理解・受容しあえる組織へと変革します。



1 ダイバーシティ&インクルージョンの推進

多様性と個性を尊重するプラスグループのDNAを結集し、社会に貢献する新たな価値を生み出していきます。



プラス株式会社
コーポレート本部
人事統括部 室長
白井 由紀

異なる個性と個性を“プラス”し、新しい価値を生み出していくこと。これはプラス株式会社が創業時より大切に

できているDNAです。社会やお客様の多様なニーズに対応し、当社が持続的に成長していくために、多様な属性、キャリア志向、ON/OFFプライオリティ(価値観)をもつ個人が個性や能力を発揮・活躍できる環境や、それらを公平に評価する仕組みの整備に努めてきました。

今後、プラスグループを取り巻く環境が絶えず変化していく中で新しい価値を創造していくには、より一層、個人人の能力を最大化し、充分に発揮していく必要があります。また、将来の事業展開を見据えた積極的なM&Aにより、近年、多くの仲間を当社へ迎えています。プラスグループ各企業のDNAや強みを活かし、社会に貢献していくため、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を経営戦略における優先事項のひとつと位置付け、多様性を尊重し、個人人の能力を存分に発揮できる組織を目指します。

ダイバーシティ&インクルージョンに関する教育、啓発

プラス株式会社では、ダイバーシティ&インクルージョンのさらなる理解促進と意識醸成に向けて、e-ラーニングによる講習を開講しています。

2022年度は8月と12月の2回、実施しました。1回目は「ダイバーシティ&インクルージョンの概念と重要性」について理解

を促し、意識や行動を変える気づきを与え、2回目は「多様性を活かした組織を実現するために、具体的にどのようなことに配慮しなければいけないのか」を考えてもらうことを目的に行いました。今後も、理解促進に向けた活動を継続的に展開していきます。

ワーク・ライフ・バランスの実現

プラス株式会社では、社員一人ひとりが能力を最大限発揮し、長く活躍できる環境づくりを進めています。

具体的には、仕事と育児・介護との両立が必要な社員に対する育児・介護休職・休暇・短時間勤務制度を整備するほか、フ

レックスタイム制度や時間単位有給休暇制度、在宅勤務制度など柔軟に働くことのできる勤務制度を導入しています。

仕事と生活を両立しながら、すべての社員が能力を発揮できる職場環境づくりに努めていきます。